# 観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　４月　１日

## １．観光地域づくり法人の組織

| | | |
|---|---|---|
| 申請区分<br>※該当するものを〇で囲むこと | 広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ | |
| 観光地域づくり法人の名称 | （一社）日田市観光協会 | |
| マネジメント・マーケティング対象とする区域 | 区域を構成する地方公共団体名<br>日田市 | |
| 所在地 | 大分県日田市 | |
| 設立時期 | 昭和 48 年 2 月 1 日 | |
| 事業年度 | ４月１日から翌年３月 31 日までの１年間 | |
| 職員数 | 15 人【常勤 8 人（正職員 8 人）、パート 7 人】 | |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）<br>※必ず記入すること | （氏名）<br>冨安裕子<br>（出身組織名）<br>株式会社クンチョウ酒造 | （一社）日田市観光協会の会長を 8 年務めるなど、観光振興のリーダーとして活躍。地域内外に幅広い人脈を持つ。また、クンチョウ酒造（株）の役員として優れた経営力を発揮しており、地域 DMO の責任者として最適な人材である。 |
| データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー<br>※必ず記入すること | 用松　太一「専従」<br>（一社）日田市観光協会 | 資材メーカーでの営業を経験後、令和元年より（一社）日田市観光協会にてマーケティングを担当。 |
| 財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）<br>※必ず記入すること | 黒木　陽介「専従」<br>（一社）日田市観光協会 | 旅行会社、広告代理店、旅館マネージャーを経験後、（一社）日田市観光協会に入社。営業企画室長として、当協会事業全般の企画・運営に関わる。また、平成 30 年より事務局長に就任し、行政、事業者、金融機関との調整や当協会の会計も担っており、財務責任者として適任である。 |

様式１

<table>
<tr><td>各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）<br>※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）</td><td>（氏名）<br>〇〇　〇〇<br>（出身組織名）<br>（株）〇〇</td><td></td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">日田市文化スポーツ観光部観光課<br>・事業提案の実施計画への反映、必要な予算の確保<br>・市役所内部における他部署との連携サポート<br>・国、県等との連携事業に対するサポート。</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">日田商工会議所（商品造成）、日田地区商工会（商品造成）、<br>天ヶ瀬温泉つなぐ会議（商品造成）、奥日田デザイン会議（商品造成）、<br>日田旅館組合（宿泊）、天ヶ瀬温泉旅館組合（宿泊）、日田バス（二次交通）、<br>JR 九州（二次交通）、日田市タクシー協会（二次交通）、日田信用金庫（金融）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">【該当する登録要件】②<br>関連団体・事業者の代表による理事会を構成。<br>また、理事会の下部委員会として観光地域づくり法人が主導して、行政や関係団体をメンバーとする「日田市観光戦略会議」を設置。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">当協会ホームページに事業報告書、決算書、予算書、各種調査の報告などを掲載し周知を図っている。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】<br><table><tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr><tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・情報発信事業<br>WEB による情報発信、当地回遊型パンフレット「日田町歩きマップ」の作成（年１回）、ニュースリリース配信（オンライン）、メディア・旅行会社への情報提供を実施。</td></tr><tr><td>受入環境の整備</td><td>・着地型旅行商品造成事業<br>町歩きツアー、各種体験プログラム、宿泊斡旋、クーポン企画の造成及び販売の実施。<br>・レンタサイクル、シェアサイクル</td></tr></table></td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | 観光資源の磨き上げ | ・受け入れ体制強化事業<br>観光スポットのブラッシュアップ、各種団体と連携した取り組み、日田ご当地コンダクターのブラッシュアップ、天領日田資料館特別展の実施 |

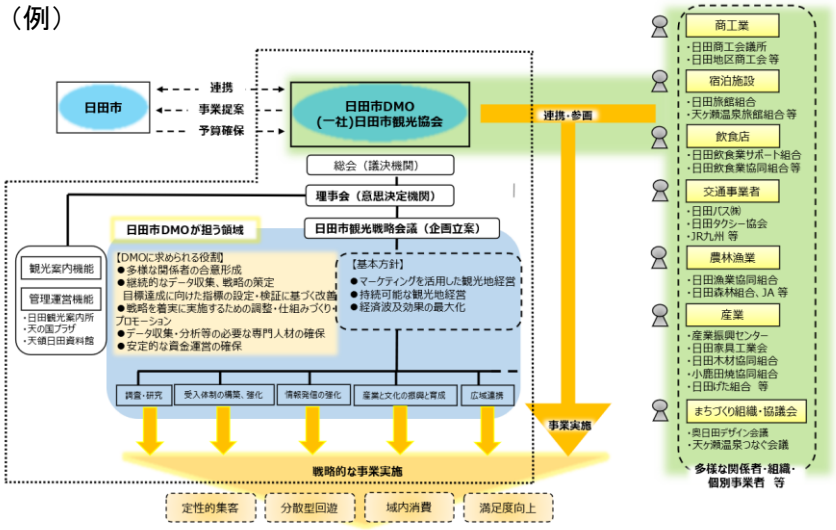
**【定量的な評価】**
**【定量的な評価】**
令和６年４月～令和７年３月
ホームページ PV 数：１１４万 PV、町歩きツアー受入：１２８１名

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

**【実施体制の概要】**
（一社）日田市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農林水産業、商工業等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施。

**【実施体制図】**

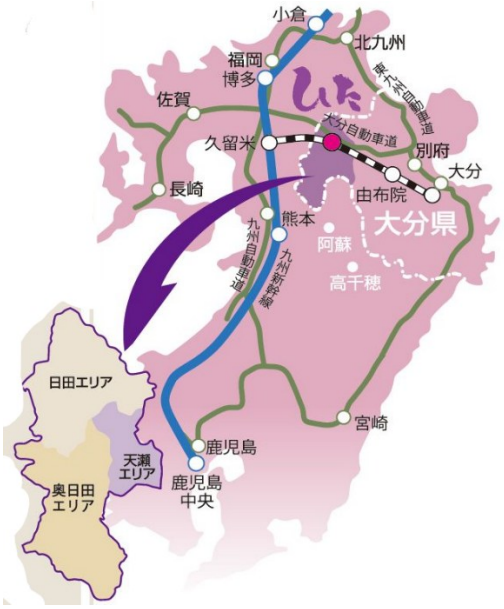
（例）




## ２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

様式１

**【区域の範囲が分かる図表を挿入】**




**【区域設定の考え方】**

平成１７年に１市２町３村が合併し、新「日田市」が誕生。平成１８年には「日田観光協会」と「あまがせ町観光協会」とが合併し、「日田市観光協会」を設立。市域にて、その地域性を活かしながら観光振興を行っていることから、当該区域での設定が適切である。

**【観光客の実態等】**

令和６年の観光入込客数は約３１５万人。うち、国内宿泊客数は約３１万人。外国人宿泊者数は約１０万人。国内宿泊客を発地別にみると、福岡県からの宿泊客が約３１%と最も多い。令和６年の観光消費額は約４０９億円となっている。

**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**

豆田町（伝統的建造物群保存地区）、日田温泉、天ヶ瀬温泉、小鹿田焼の里、サッポロビール九州日田工場、高塚愛宕地蔵尊、地底博物館鯛生金山、上津江フィッシングパーク、スノーピーク奥日田キャンプフィールド、オートポリス、日田川開き観光祭、日田祇園の曳山行事（ユネスコ世界文化遺産）、日田天領まつり、千年あかり、天領日田おひなまつり、進撃の巨人 in 日田　等
①自然資源の活用と②地域産業・歴史・文化資源の活用を行う。特に①に関しては奥日田エリアでのアクティブコンテンツの造成、②に関しては鵜飼いの保護や産業観光の促進を関係者と協働で行う。

**【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】**

日田エリア：施設数２１、収容人員１，６１１名
天瀬エリア：施設数１２、収容人員５６０名
奥日田エリア：施設数２、収容人員８６７名

**【利便性：区域までの交通、域内交通】**

高速バス：福岡空港１時間３０分、博多駅１時間５０分、西鉄天神 BT１時間３５分
JR：博多駅（特急）１時間１０分、大分駅（特急）１時間４０分、久留米駅（特急）４０分
自動車：福岡ＩＣ約１時間１０分、大分ＩＣ約１時間１５分、熊本ＩＣ約１時間３０分

**【外国人観光客への対応】**
JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリー１（日田市観光案内所、あまがせ観光案内所）を運営。
外国語（五か国語）ＨＰを運営。

## ３．各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ | 収集の目的 | 収集方法 |
|---|---|---|
| 旅行消費額 | 入込客数や観光消費額の推計等 | 市観光統計（宿泊者数、観光施設入場者数等）による推計。旅中アンケート調査。 |
| 延べ宿泊者数 | 宿泊者数の推移を把握するため。 | 入湯税額の集計、宿泊施設へのヒアリング |
| 観光満足度 | 各項目への満足度を把握するため | 旅中でのアンケート調査 |
| リピーター率 | 観光客の動向を把握するため | 旅中でのアンケート調査 |
| ＷＥＢサイトのアクセス状況 | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。 | グーグルアナリティクスを活用して実施。 |
| 住民満足度 | 観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。 | 日田市が日田市市民意識調査を実施。 |
| | | |

## ４．戦略

### （１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景
観光地間競争が激化していく中、観光の将来を見据え、計画的かつ戦略的に観光振興に取り組む必要がある。また次代を担う人材の発掘・育成が急務である。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（DMO）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることとしている。

### （２）地域の強みと弱み

| | 好影響 | 悪影響 |
|---|---|---|
| 内部環境 | **強み（Strengths）**<br>**・豊富な水資源**<br>**・歴史観光**<br>**・杉の産地、森林、木材関連** | **弱み（Weaknesses）**<br>**・関東、関西からのアクセスが悪い**<br>**・家族で楽しめる施設、コンテンツが弱い**<br>**・柳川や南阿蘇に比べて水のイメージが体感しづらい** |
| 外部環境 | **機会（Opportunity）**<br>**・福岡市から１時間の距離**<br>**・由布院、阿蘇等へのアクセス** | **脅威（Threat）**<br>**・人口減少によるサービス力の低下**<br>**・観光地としての差別化** |

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

## （３）ターゲット

| |
|---|
| ○第１ターゲット層<br>北部九州エリア（福岡、佐賀、熊本、大分など）の２０代～４０代。 |
| ○選定の理由<br>これまでの観光施策は５０代～７０代を中心にターゲットを設定したものを多く行ってきたが、マーケティング調査の中で、２０代～４０代に向けてのプロモーションやコンテンツ力が弱かったことが見えてきた。さらにコロナ禍およびアフターコロナにおいての旅行形態の変化があると考えられる。このため、日田市観光戦略会議においてこれらの状況を議論し、北部九州エリアの旅行意欲が高くＳＮＳでの情報拡散に効果的な２０代～４０代をメインターゲットとした。<br><br>○取組方針<br>　紙媒体や新聞、雑誌等を通したプロモーションからインターネット・ＳＮＳを中心としたプロモーションへの移行。ターゲット層の持つ多様な価値観を見据え、ターゲットへの訴求力が高くコンセプトを体感できる商品造成を行う。 |
| ○第２ターゲット層<br>北部九州エリアの５０代～７０代 |
| ○選定の理由<br>第２ターゲット「北部九州エリアの５０代～７０代」については、令和元年に行った旅中アンケート調査において日田市の観光におけるコアユーザーであり、観光消費の高い層であることから設定した。<br>○取組方針<br>既存の観光資源をブラッシュアップし、訴求力の高い商品造成を行う。 |

## （４）観光地域づくりのコンセプト

| | |
|---|---|
| ①コンセプト | 「水が磨く郷。」<br>うるわしき水、やさしい水、はげしい水、たおやかな水、おそろしい水、つめたい水、あたたかな水、おいしい水、いのちの水。私たちは、水のすべてを愛し、これまでもこれからも水の郷に暮らします。 |
| ②コンセプトの考え方 | 水がさまざまな形で、日田に暮らす人々のあらゆる営みに深く関わり、豊かさを具現化している。それを従来の観光目線に囚われず、外を意識した多彩なプログラムとして具現化する。狙うべきは新たな訪問、滞在目的の設定。そこに、滞在と飲食、ショッピングをしたたかに仕込む。<br>日田市は古代より水運によって栄え、モータリゼーションの進展が及ぶ前までは主要流通ルートとして三隈川（筑後川の上流域）があったという歴史的背景。鮎やうなぎといった川魚料理、豊富な水資源の利用した醸造業、水を育む山から産出された木材とその木材を加工する産業の集積。<br>近隣では柳川や島原、阿蘇といった地域も水のイメージが強いが、日田市は前述の通り、水そのものだけではなく水を中心とした歴史、産業、文化に富んでおり強みと考える。 |

## ５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

様式１

| 項目 | 概要 |
| --- | --- |
| 戦略の多様な関係者との共有<br>※頻度が分かるよう記入すること。 | 理事会（３ヶ月に１回程度）、<br>関連団体・事業者の代表による理事会を構成。<br>「日田市観光戦略会議」より提案を受けた事業や、予算の承認を行う。 |
| | 日田市観光戦略会議（２ヶ月に１回程度）<br>地域の関係団体、企業をメンバーとし、理事会に対して各事業の提案を行う「日田市観光戦略会議」を設置。 |
| 観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築 | （例）飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質保証制度を実施。 |
| 観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション | メインターゲットへ向け、コンセプトに基づいた情報発信を行う。<br>これまでに蓄積したノウハウを基に、観光情報媒体の作成やメディア等へのプロモーションを行う。 |

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

## ６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

### （１）必須ＫＰＩ

| 指標項目 | | 2022（Ｒ４）年度 | 2023（Ｒ５）年度 | 2024（Ｒ６）年度 | 2025（Ｒ７）年度 | 2026（Ｒ８）年度 | 2027（Ｒ９）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●旅行消費額（百万円） | 目標 | 30,971 | 23,900 | 25,700 | 27,400 | 29,200 | 31,000 |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | 27,279 | 31,503 | 40,937 | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ●延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 463 | 320 | 350 | 370 | 400 | 420 |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | 318 | 381 | 391 | | | |
| | | （ ） | (73) | (96) | | | |
| ●来訪者満足度（%） | 目標 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | 91 | 90 | 85 | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ●リピーター率（%） | 目標 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | 67 | 75 | 69 | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**
令和 5 年度に改訂した「日田市観光振興基本計画」の見直しを令和 4 年度中に行い、その議論の中で KPI についても精査を行った。
**【設定にあたっての考え方】**
●旅行消費額
令和 9 年までに令和元年（コロナ禍及び令和 2 年 7 月豪雨以前）の水準に戻すことを目標数値として定めた。
●延べ宿泊者数
コロナ禍及び令和 2 年 7 月豪雨により宿泊施設の廃業・リニューアル（客室数減少）のため、令和 3 年の数値から 20 万人増を目標数値として定めた。
●来訪者満足度
コロナ禍でライフスタイルや価値観の変化がもたされ、安心・安全への対応、自然志向などのニーズに対し的確な対応と情報発信を行い、90%の満足度を目指す。
●リピーター率
ターゲット層の見直しにより、新たなターゲット層の取り込みにより将来的なコアユーザーへつなげる。そのため、一定程度の新規顧客獲得を目指す。

### （２）その他の目標

| 指標項目 | | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

様式１

| | | （Ｒ４）<br>年度 | （Ｒ５）<br>年度 | （Ｒ６）<br>年度 | （Ｒ７）<br>年度 | （Ｒ８）<br>年度 | （Ｒ９）<br>年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●ホームページＰＶ数（oidehita.com）（千ページ） | 目標 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | 1,016 | 1,187 | 1,400 | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ●（例）宿泊施設の稼働率（%） | 目標 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ●（例）ワンストップ窓口での宿泊予約数（件） | 目標 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ●（例）メディア掲載回数（回） | 目標 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |
| ● | 目標 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |
| | 実績 | | | | | | |
| | | （ ） | （ ） | （ ） | | | |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

**指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**

**検討の経緯】**
令和５年度に改訂した「日田市観光振興基本計画」の見直しを令和４年度中に行い、その議論の中でKPIについても精査を行った。
**【設定にあたっての考え方】**
●ホームページＰＶ数
更新回数や更新内容を充実させることによって、旅前・旅中での観光客へ情報発信を行う。またその指標としてＰＶ数に着目する。益々重要度の増すスマートフォンへの対応に注力する。

## ７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

**（１）収入**

| 年（年度） | 総収入（円） | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | 155,099,782（円） | 【市等からの補助金】5,644,000 円<br>【市等からの委託金】87,520,362 円<br>【収益事業】36,079,049 円<br>【会費】3,429,500 円<br>【その他】22,426,871 円 |
| 2023（Ｒ５）<br>年度 | 207,396,145（円） | 【市等からの補助金】48,776,482 円<br>【市等からの委託金】71,342,513 円<br>【収益事業】65,282,890 円<br>【会費】3,503,000 円<br>【その他】18,491,260 円（円） |
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 137,253,272（円） | 【市等からの補助金】7,745,550 円<br>【市等からの委託金】59,541,725 円<br>【収益事業】51,812,754 円<br>【会費】3,476,000 円<br>【その他】14,677,243 円 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 125,501,993（円） | 【市等からの補助金】8,289,000 円<br>【市等からの委託金】59,541,725 円<br>【収益事業】47,201,312 円<br>【会費】3,508,000 円<br>【その他】16,554,634 円 |
| 2026（Ｒ８）<br>年度 | 80,000,000（円） | 【市等からの補助金】4,600,000 円<br>【市等からの委託金】43,000,000 円<br>【収益事業】16,000,000 円<br>【会費】3,600,000 円<br>【その他】12,800,000 円 |
| 2027（Ｒ９）<br>年度 | 80,000,000（円） | 【市等からの補助金】4,600,000 円<br>【市等からの委託金】43,000,000 円<br>【収益事業】16,000,000 円<br>【会費】3,600,000 円<br>【その他】12,800,000 円 |

**（２）支出**

| 年（年度） | 総支出 | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | 151,139,731（円） | 【一般管理費】31,267,860 円<br>【国内プロモーション】30,881,677 円<br>【海外プロモーション】509,000 円<br>【受入環境整備等の着地整備】9,463,502 円<br>【コンテンツ開発】17,647,000 円<br>【観光イベントの開催費】17,103,425 円<br>【マーケティング】6,970,000 円<br>【その他】37,297,267 円 |
| 2023（Ｒ５）<br>年度 | 205,240,542（円） | 【一般管理費】39,313,390 円<br>【国内プロモーション】28,229,130 円<br>【海外プロモーション】3,232,513 円<br>【受入環境整備等の着地整備】9,724,168 円<br>【コンテンツ開発】12,580,384 円<br>【観光イベントの開催費】16,970,170 円<br>【マーケティング】3,990,000 円 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 【その他】91,200,787 円 |
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 137,034,425（円） | 【一般管理費】43,228,038 円<br>【国内プロモーション】27,149,781 円<br>【海外プロモーション】1,125,200 円<br>【受入環境整備等の着地整備】37,460,219 円<br>【コンテンツ開発】2,700,080 円<br>【観光イベントの開催費】6,100,000 円<br>【マーケティング】6,687,000 円<br>【その他】12,584,107 円 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 125,501,993（円） | 【一般管理費】38,699,170 円<br>【国内プロモーション】18,685,925 円<br>【海外プロモーション】1,670,000 円<br>【受入環境整備等の着地整備】41,387,640 円<br>【コンテンツ開発】1,262,000 円<br>【観光イベントの開催費】6,100,000 円<br>【マーケティング】5,170,000 円<br>【その他】12,527,258 円 |
| 2026（Ｒ８）<br>年度 | 80,000,000（円） | 【一般管理費】26,000,000 円<br>【国内プロモーション】17,000,000 円<br>【受入環境整備等の着地整備】4,000,000 円<br>【コンテンツ開発】1,500,000 円<br>【観光イベントの開催費】5,500,000 円<br>【マーケティング】5,000,000 円<br>【その他】21,000,000 円 |
| 2027（Ｒ９）<br>年度 | 80,000,000（円） | 【一般管理費】26,000,000 円<br>【国内プロモーション】17,000,000 円<br>【受入環境整備等の着地整備】4,000,000 円<br>【コンテンツ開発】1,500,000 円<br>【観光イベントの開催費】5,500,000 円<br>【マーケティング】5,000,000 円<br>【その他】21,000,000 円 |

### （３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載
旅行業（地域登録）を活用した着地型旅行商品の造成及び販売。
観光情報媒体（パンフレット、HP 等）を作成する際の広告収入の確保。
公物管理による収入。
地域内関係者との連携による地域ブランド産品の開発及び販売。
大分県による宿泊税導入に関する検討会への参加。

## ８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。
日田市は、一般社団法人日田市観光協会を日田市における地域ＤＭＯとして認めます。

## ９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

**【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】**
（例）エリアが重複する●●ＤＭＯとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

**【区域が重複する背景】**

**【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】**
※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

**【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】**

## １０．記入担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 担当者氏名 | 用松太一 |
| 担当部署名（役職） | 観光マーケティング係長 |
| 郵便番号 | 877-0013 |
| 所在地 | 大分県日田市元町 11-3 |
| 電話番号（直通） | 0973-22-2036 |
| ＦＡＸ番号 | 0973-22-2444 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | t-mochimatsu@oidehita.com |

## １１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 日田市 |
| 担当者氏名 | 水谷友哉 |

様式１

| | |
|---|---|
| 担当部署名（役職） | 日田市文化スポーツ観光部観光課　主事 |
| 郵便番号 | 877-8601 |
| 所在地 | 大分県日田市田島２丁目 6-1 |
| 電話番号（直通） | 0973-22-8210 |
| ＦＡＸ番号 | 0973-22-8328 |
| Ｅ－ｍａｉｌ | kanko@city.hita.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | |
| 担当者氏名 | |
| 担当部署名（役職） | |
| 郵便番号 | |
| 所在地 | |
| 電話番号（直通） | |
| ＦＡＸ番号 | |
| Ｅ－ｍａｉｌ | |

# （登録）【地域DMO】（一般社団法人日田市観光協会）

様式2

記入日：　令和7年4月1日

## 基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
大分県日田市
【設立時期】 令和6年9月24日登録
【設立経緯】
③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】 冨安　裕子
【マーケティング責任者（CMO）】 用松　太一
【財務責任者（CFO）】 黒木　陽介
【職員数】 15人（常勤8人（正職員8人）、非常勤7人）
【主な収入】
収益事業　51百万円、委託・補助事業等　67百万円（R6年度決算）
【総支出】
事業費　93百万円、一般管理費　43百万円（R6年度決算）
【連携する主な事業者】
日田商工会議所、日田地区商工会、日田温泉旅館組合、
天ヶ瀬温泉旅館組合、（一社）奥日田ローカルツーリズム、
（一社）あまみら、日田バス、JR九州、日田信用金庫、大分銀行など

## KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

| 項目 | | 2022（R4）年度 | 2023（R5）年度 | 2024（R6）年度 | 2025（R7）年度 | 2026（R8）年度 | 2027（R9）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旅行消費額（百万円） | 目標 | 30,971（　） | 23,900（　） | 25,700（　） | 27,400（　） | 29,200（　） | 31,000（　） |
| | 実績 | 27,279（　） | 31,503（　） | 40,937（　） | — | — | — |
| 延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 463（　） | 320（　） | 350（　） | 370（　） | 400（　） | 420（　） |
| | 実績 | 318（　） | 381（73） | 391（96） | — | — | — |
| 来訪者満足度（%） | 目標 | 90（　） | 90（　） | 90（　） | 90（　） | 90（　） | 90（　） |
| | 実績 | 91（　） | 90（　） | 85（　） | — | — | — |
| リピーター率（%） | 目標 | 80（　） | 80（　） | 80（　） | 80（　） | 80（　） | 80（　） |
| | 実績 | 67（　） | 75（　） | 69（　） | — | — | — |

## 戦略

【主なターゲット】
北部九州エリアの20代～40代。
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
紙媒体や新聞、雑誌等を通したプロモーションからインターネット・SNSを中心としたプロモーションへの移行。ターゲット層の持つ多様な価値観を見据え、ターゲットへの訴求力が高くコンセプトを体感できる商品造成を行う。
【観光地域づくりのコンセプト】
「水が磨く郷。」

## 具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・「日田の茶菓」を企画開発、造成。（写真右上）

【受入環境整備】
・シェアサイクルの導入
・着地型旅行商品販売

【情報発信・プロモーション】
・観光ガイドブックの発行
・日田町歩きマップ
・ニュースリリース配信
・メルマガ配信
・SNSの活用
【その他】
・旅中アンケート調査
・日田式プロジェクトのサポート
・日田市観光戦略会議の運営（右下）